

どんなプログラムがあるんだろう？



A. 事業所によっていろいろなプログラムがあるよ。

1. 自立した日常生活を営むために必要なこと

着替えや掃除、料理など日常生活に必要なちからをつけること、ひらがなの書き方とか計算、宿題とか勉強に必要なちからをつけること、ソーシャルスキルトレーニング(SST)などのみんなでいっしょに行う、トレーニングによるコミュニケーションスキルの向上なんかを行っているよ。
[就労](#)を見据えてPCの作業訓練を行っているところもあるみたい。

2. 創作的活動・作業活動

創作活動や作業活動を提供している事業所もあるよ。
粘土でいろいろなものを作ったり、書道や絵を描いたり、季節に合わせた制作なんかがあるよ。

3. 地域交流の機会

[障がい](#)がある子どもの社会経験や生活経験が豊かになるように、[地域](#)と交流を積極的に行っている事業所もあるよ。

近所の[児童館](#)に行ったり、[青少年活動センター](#)を借りたりして広い体育館で遊んだりもできるんだ。

土曜日や日曜日は、動物園や工場見学に行っている事業所もあるんだよ。

4. 余暇の提供

障がいのある子どもたちの放課後や長期の休みの居場所として、自由に遊んだりリラックスできる場所でもあるんだ。運動やダンス、楽器を演奏するプログラムが用意されていることもあるよ。

どんな活動でも、個人プログラムと集団のプログラムを取り混ぜて実施しているところがほとんどだよ。

ひとりでできるのも大切だけど、皆といっしょにできるのも大切だと思うよね。

[《MENU》](#)

[《どんなタイプがあるの？》](#)

[《レスパイトケアってなに？》](#)

2020-10-05 掲載